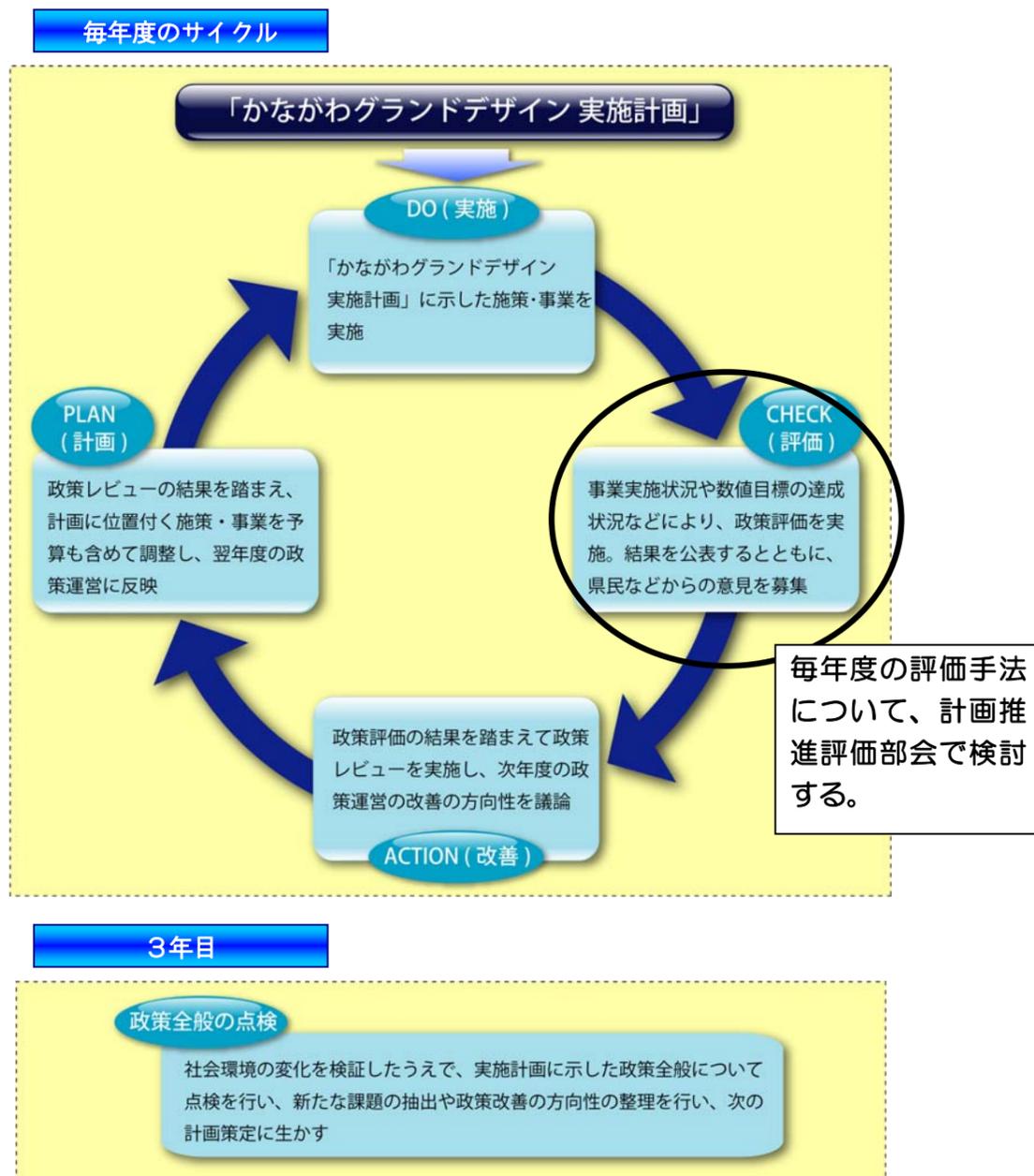


# 「かながわランドデザイン」の評価について

## 1 政策のマネジメント・サイクル

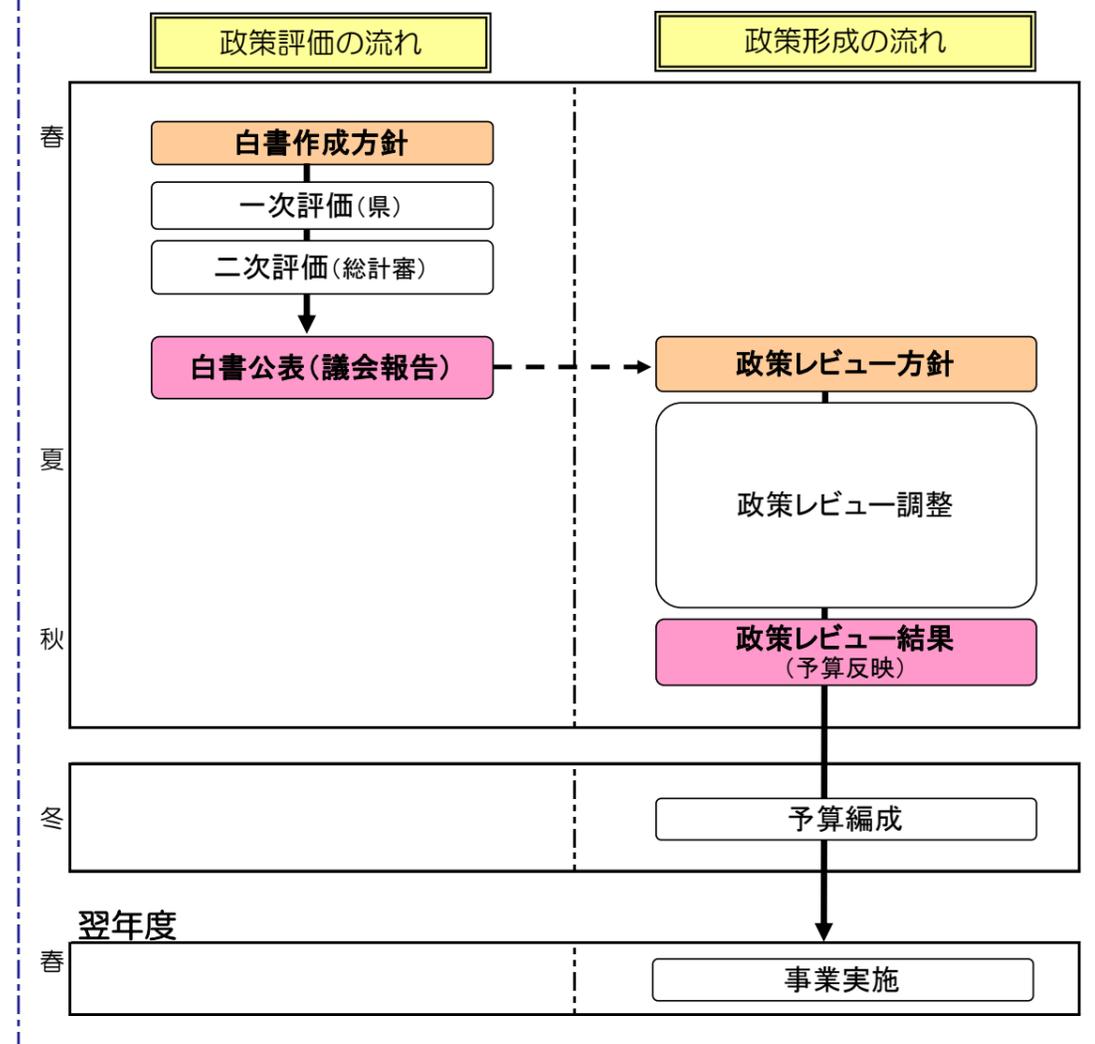
- 「神奈川力構想・実施計画」では、計画の着実な推進を図るため、政策評価を総合的に実施し、評価結果に基づいて翌年度の政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」により、計画の進行管理を行った。
- 「かながわランドデザイン 実施計画」においても、引き続き、計画の着実な推進を図るため、実施計画に示した施策の実施状況について政策評価を行い、その評価に基づき政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」により、計画の進行管理を行う。

(参考) 「かながわランドデザイン 実施計画」における「政策のマネジメント・サイクル」



## (参考) 「政策のマネジメント・サイクル」による政策評価と政策形成の流れ

- 「政策のマネジメント・サイクル」による政策評価と政策形成の流れを、具体的に示すと次のとおり。
- 毎年度の終了後、プロジェクトの実施状況等について評価を行い、白書として公表 (CHECK=評価)。(=政策評価)
- 政策評価の結果を踏まえ、政策レビューにおいて翌年度の政策運営の改善の方向性を議論 (ACTION=改善)し、その方向性に沿って計画に位置付く施策・事業を予算も含めて調整 (PLAN=計画)し、施策・事業を実施 (DO=実施)。(=政策形成)



## 2 「かながわランドデザイン 実施計画」の特徴

- 3年間に重点的に取り組む「プロジェクト」を県民により分かりやすく示すため、実施計画を「プロジェクト編」と「主要施策・計画推進編」に分けた。
- 「プロジェクト編」では、喫緊の課題に対応するため、先進性や発展性を持った重点政策を分野横断的にまとめた27の「プロジェクト」を示した。
- 「主要施策・計画推進編」では、県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」を示すとともに、毎年度の評価に当たって、様々な角度からプロジェクトの達成状況を検証していくため、プロジェクトごとに複数の数値目標を設定した。

## 3 計画の推進にあたり留意すべき事項（総合計画審議会の答申より）

- 計画を着実に推進し、進行管理を行っていくため、事業の実施状況やプロジェクトに掲げた数値目標の達成状況、県民ニーズや社会環境の変化を示す統計データなどを活用して、総合的な政策評価を行う必要がある。
- 政策評価の結果を県民に分かりやすく示すとともに、評価に基づいて毎年度の政策運営を改善する「政策のマネジメント・サイクル」により、計画の目標達成に向けて効率的・効果的な政策運営を行っていく必要がある。

## 4 毎年度の評価手法（案）

### （1）基本的な考え方

- 総合計画審議会の答申も踏まえ、「神奈川力構想・実施計画」における評価手法を踏襲し、毎年度の終了後、プロジェクトごとに事業実施状況や数値目標の達成状況などにより、県としての一次評価（自己評価）を行い、総合計画審議会において一次評価に対する二次評価（第三者評価）を行って、その内容をとりまとめて公表する。

### （2）検討の視点

- より効率的・効果的かつ分かりやすい評価手法等を検討する。

- ・ 一次評価の方法について  
（総合分析、数値目標の達成度の見せ方（ABCDランク）等）
- ・ 二次評価の方法について  
（評価の範囲、評価基準、意見聴取の方法等）
- ・ 効果的で分かりやすい評価結果の公表方法について

## （3）具体的な評価の方法等

評価の実施時期	事業実施年度終了後、6月に公表。	
評価の対象	先進性や発展性を持った県の重点政策を分野横断的にまとめた「プロジェクト」	
評価の実施主体	一次評価	県の事業部局
	二次評価	総合計画審議会 （部会が評価を行い、案を取りまとめて審議会で審議。）
評価の内容	一次評価	
	数値目標の達成状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト毎に複数設定した数値目標の達成状況を分析。</li> <li>・ 達成率によりランクで評価も検討。 （評価例） A = 達成率100%以上 B = 達成率80%以上100%未満 C = 達成率60%以上80%未満 D = 達成率60%未満</li> <li>・ 目標値と実績値の差が生じた場合は、その原因を分析し、問題点や今後の対応等を整理。</li> </ul>
	総合分析	数値目標の達成状況のほか、事業の実施状況や県民ニーズ、社会環境の変化を示す統計データなどを活用して、プロジェクトのねらいの達成状況について、多角的に分析。
	今後の課題と対応方向	分析を踏まえ、今後の課題を整理するとともに、課題を踏まえ、政策運営の改善を含む今後の方向性を整理。
	二次評価	「数値目標の達成状況の分析」「総合分析」の妥当性、今後対応が求められる新たな政策課題等について評価。

（参考）これまでの二次評価の流れ

1 総合計画審議会委員及び部会委員 二次評価意見の提出

（部会グループ会議 二次評価意見の整理）

2 計画推進評価部会 二次評価（案）の取りまとめ

3 総合計画審議会 二次評価〔部会（案）〕の審議